

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	心の森		
○保護者評価実施期間	令和6年10月12日		令和6年11月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名(19世帯)	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年10月12日		令和6年11月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化しないように工夫している ・子どもが自己選択できるような支援の工夫がされて等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている	・こどもの興味関心に沿った活動提供とプロジェクト活動やアトリエ活動など、こどもの主体性や対話を大切に活動提供をする中で、豊富な経験や深い学びにつなげられている	・本人支援における支援プログラムを放課後等デイサービスガイドラインに定められている4つの基本活動に分けて見える化することで、より計画的に幅広い経験や深い学びの場が提供できるようにしていきたい
2	・日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	・記録の視点をこどもの成長という視点でもって、ドキュメンテーションという形で記録することで、こども一人ひとりのストレンクスを重視した支援につなげられている	・職員一人ひとりの気づきを職員全体の気づきとし、次の支援へとつなげていくことと、保護者・学校や他デイと共有し、こどもたちに関わる人たちと共通理解を深めていきたい
3	・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達や課題について共通理解を持っている	・送迎時の申し送りを重視していることに加え、ドキュメンテーションや個人記録、おたよりの配信、懇談会など、こどもの発達の状況や課題について話をする機会、共有する機会を豊富に設けている	・今後、保護者支援の一環として、保護者会等で、プロジェクト活動やこどもたちの成長を伝える機会を持つことが共通理解を持つことだけでなく、一緒に学びを深める機会やこどもたちの発達や成長を理解する視点を伝えるというペアレントトレーニング等の方向にもつなげていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている	・保護者同士の交流する機会が少ない ・きょうだい向けのイベントを開催していない	・定期的に保護者の方に事業内容や活動内容、こどもたちの成長を伝えられるような機会や保護者同士の交流の機会を継続して設けていきたい ・参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容など、保護者の意向を取り入れ、様々な方法を試していきたい
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	・マニュアルを保護者に周知・説明する機会を設けていない ・訓練の実施について見える化ができていない	・定期的にマニュアルの見直し・改訂を継続していきたい ・救急要請、AED使用、感染症対策等、職員間で実施しているこどもたちの安全を守る取り組みについても、保護者と共有できるよう様々な形で発信していきたい
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている	・訓練の実施について見える化が不十分である	・訓練でのこどもたちの様子や課題や対応策などの気づきをその都度保護者に見える化し、共有していきたい ・家庭においても非常災害時の対応を知っておきたいという声もあるので、一緒に訓練に参加をしていただくような機会や非常災害の対応について考える機会を作していきたい